※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日

2021年7月30日

派遣決定番号 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	出雲市			代表者名	出雲市長 飯塚俊之
担当者部署	総務部			連絡先電話番号	0853-21-6527
担当者役職	係長	担当者氏名	竹内 洋	連絡先E-mail	
住所	<u>所</u> 693-8530 島根県出雲市今市町70番地				
1-2 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)					

団体名	連絡先部署		
担当者氏名	連絡先電話番号	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき	
評価	大変よい	
上記評価の理 由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に))経過等について解説していただきました。特に、自治体システムの標準化 整理している部分などの説明もあり、本市がシステム標準化に向かうにあた ごきました。
アドバイザー への要望事項	特にありません。	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

(具体的にご記入ください)

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月26日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	講演(オンライン)			

4.報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可 ○掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数				
	出雲市職員、出雲市議会議員	22 人				
5-2. 支援を受けるにあたって目指した	5ー2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)		市職員及び市議会議員のデジタルリテラシーの向 ル庁創設に伴いデジタル化の動きが大きく加速して 3べき事柄を正しく理解する必要がある。				
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	市職員及び市議会議員が、DXに関する国の動同時に学ぶことで、お互いに共通認識をもって施制	回やそれに伴い市町村が取り組むべき事柄について その立案や実施に取り組んでいけるようにしたい。				
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DXに関する国の動向(これまでの経過や方向性システムの標準化については、標準仕様やガバメン関して詳しく解説していただいた。	E)等について講演していただいた。特に、自治体 ソトクラウドの内容、スケジュール、財政支援等に				
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	国のデジタル改革に関係する法律、計画、方針等を解説していただくことで、その方向性を理解することができた。また、自治体システムの標準化については、本市が実施するうえでの課題等を整理する良い機会となった。					
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない				
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容	今回の講演により、DXの概念や国の動向等にながら、デジタルを取り巻く環境は刻々と進化すると理解を深めていく必要がある。	Oいて、一定の理解を得ることができた。しかしな に考えられることから、随時、適切な情報を収集し				

アンケートの内容と分析結果	についてご記入下さい。(EXCELやPDFでのアンケートを行わなかった場合はその理由をご記る	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	今回の助言等も踏まえながら、今後も計画的に職員研修等を実施してデジタルリテラシーの向上を 図っていく。そして、職員自身がDXに関して正しく理解し、施策の立案等ができるようにしていき たい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



